

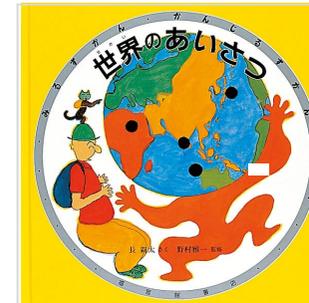
『チムとゆうかなせんちょうさん』

エドワード・アーディゾーニ さく せた ていじ やく 福音館書店
 海岸の家に住んでいるチムぼうやは船乗りになりたくてたまりません。でも、お父さんもお母さんもまだ小さすぎるのです。ある日、知り合いのおじさんが沖の汽船まで連れていってくれました。そこで船にこっそりかくれて航海に出て行ってしまったのですが、すぐに見つかってしまいます。チムは一生懸命働いて、船長や船員たちに気に入られました。ところがある日、激しい嵐にまきこまれて船は横だおしになって沈没しかけます。船に残ったチムと船長は“海のもくず”となりそうでしたが…。さあ、チムと船長はどうなったでしょうか？絵本をじっくり楽しんでください。
 子どもたちの冒険心を心ゆくまで満たしてくれる物語です。チムのシリーズは全11冊、どれもおすすめの絵本です。



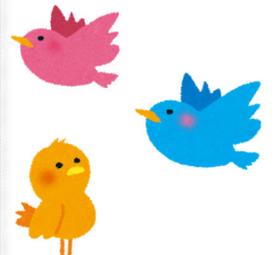
『世界のあいさつ』

長 新太 さく 野村雅一 監修 福音館書店
 世界の人たちは、どんなふうにあいさつしているんだろうと調べた絵本です。おじぎ、握手、キス、むねをたたく、手首にぎる、おでこに手をあてるなどその国によっていろいろなあいさつのしかたがあるそうです。
 絵本の中には、まだまだたくさんのでてくるので、さがしてくださいね。
 今、大阪で万国博覧会が開かれています。158の国と地域、7つの団体が参加しています。そこでどんなあいさつがされているのか考えると楽しいですね。



季節のわらべうた

ちゅちゅちゅ ちゅちゅちゅ
 ちゅちゅちゅ ちゅちゅちゅ
 とまりにや とんでけ
 とまりにや とんでけ



小さなおともだち - 特別編 - “手作りの時計たち” 展 みんなのステキな時計をご覧ください



Tくん
赤猫の中に黒猫が



Wさん
しんちゃんとシロの配置がイケてます



Kくん
こんな車に乗りたいな



Rくん
イラストの小判猫だけでなく猫のぬいぐるみも作りました。さすがです！



Mさん
バラとちょうちよにいやされます



Sさん
リボンやバラの飾りがかわいいです



Kさん
時計の針がまちゃんのひげみたいでかわいい



森や野原にいろいろな鳥の音が聞こえます。この歌はそんな鳥に呼びかける歌です。人差し指でもう片方の手のひらをつつき、鳥をまねきます。
 “とまりにや とんでけ”で、いろいろな好きなところに飛んでいき、またそこからくり返し歌って遊びます。